

# 平成29年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人親子の未来を支える会

## 1. 事業の成果

平成 29 年度は、アプリ監修を始め、各 WEB メディアを通じて胎児検査・障がいに関する情報提供を行った。アプリ監修では、妊娠生活中的の胎児や妊婦の情報を一日ひとこと発信する情報アプリの監修を行った。こちらのアプリ監修には、産婦人科医師や助産師などの協力を元に構成されており、ユーザーからは好評を得ている。カウンセリング事業では、昨年度にリリースした「ゆりかご」を始めとし、相談者のサポートを行っている。団体認知度も徐々に向上した関係で、相談件数は増え、「ゆりかご」以外にも SNS やメール、電話でのサポートも行った。

広報活動では、前年度に引き続き SNS やホームページを通じての情報発信を中心に行った。

その他、関連するセミナーなども参加し、団体パンフレットを配布するなど、精力的に活動を行った。

年度末に行った活動報告会では、約 50 名の参加者を迎え、イギリスの出産事情の実態、オンラインピアサポートシステム「ゆりかご」の機能説明などを行い、関係者との交流を深めた。

## 2. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1)胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業	障がい/胎児診断/胎児治療に関する講演、障がい者サポートに関する視察や当 NPO の活動報告など合計4回の講演などを行った。 障がい/胎児診断/胎児治療に関する情報提供をメディアを通して計5回実施。 株式会社コネヒトの産前産後のママ専用アプリ、「mamari」のアプリ監修を実施。 5つの市・区・県に対し、葉酸普及事業を提案した。 Fetal Medicine Foundation のオンラインコースの日本語化を行なった。	通年	社会福祉法人や学校法人等に加え、インターネットを通じて行う	15名	一般市民、障がい者、障がい者家族、医療者、胎児医療に関わる医師、看護師等 100人/月
(2)障がいに関するカウンセリング事業	オンラインピアサポートサービス「ゆりかご」の運営。 カウンセリング事業は、「ゆりかご」ほか、電話、メール、SNS を通じ、サポートを実施。さらに希望者には障がい者施設の案内や、地域のサポート施設の紹介などを行った。	通年	インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張を実施。	100名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 10人/月
(3)胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業	海外での胎児医療のサポートを計2例行った。	通年	イギリスロンドン	2名	妊婦、これから生まれる子供たち